

## エコロジーに関する３Ｒの原則

### エコロジーに関する３Ｒの原則 えころじーにかんするすりーあーるのげんそく

従来の「大量生産、大量消費、大量廃棄」型の経済社会から脱却し、生産から流通、消費、廃棄に至るまでの物質の効率的な利用やリサイクルを進めることにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷が少ない「循環型社会」を形成しようとする運動や政策における取組みの理念としての３Ｒの原則がある。この原則は、環境に配慮した源流対策の原則、ごみの減量を考えるための原則、あるいは「もったいない」運動のキーワードなどとして提唱されてきた３Ｒ：Reduce（廃棄物の発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再資源化）の頭文字をとったものであり、この順に優先的に適用すべきだとされている。３Ｒの原則が盛り込まれた環境型社会形成推進法が平成12年5月に成立、6月に公布された。

---

<登録年月>

2007年07月

---

---